

みんなで創ろう

コウノトリの里^{プラス}

今回のテーマは、

ひろがる!コウノトリの里づくり

Vol.13

です!

本市がコウノトリをシンボルとして進める「人にも生きものにもやさしいまちづくり」を紹介するコーナーがパワーアップ。

着実にひろがる「コウノトリの里づくり」をニュースで紹介します。

問い合わせ / 地域活性化特命チーム (内線 2112)

コウノトリの里づくり支援プロジェクト協定を締結



1月18日、市とコカ・コーライーストジャパン(株)の間で「コウノトリの里づくり支援プロジェクトに関する基本協定」を締結しました。

この協定は、本市が取り組んでいる「コウノトリ」をシンボルとした「人にも生きものにもやさしいまちづくり」をより一層推進するため、コカ・コーライーストジャパン(株)と協定を交わしたものです。

支援内容の一つである「コウノトリの里づくり支援自動販売機」は、市役所本庁舎1階ロビーに設置され「コウノトリ」と本市の伝統産業である「ひな人形」の着物の和柄をイメージしたデザインとしており、コウノトリの里づくりの取組を広くPRするとともに、自販機の売上げの一部が「鴻巣市コウノトリの里づくり基金」に寄附されることとなっています。

支援自販機は、このほか市民活動センター、川里生涯学習センター、赤見台近隣公園、川里中央公園への設置を予定しています。

今後も「市民×民間×行政」の協働により、本市の豊かな自然を次世代へと引き継いでいく取組の一つとして「コウノトリの里づくり」を推進していきます。



市役所本庁舎ロビーに設置された支援自販機



コウノトリ特別企画展を開催中

「人にも生きものにもやさしいコウノトリの里づくり」の一環として、コウノトリ特別企画展を開催しています。兵庫県豊岡市におけるコウノトリを絶滅から守るための取組を紹介するパネルや、飼育日誌、コウノトリの偽卵など、貴重な資料を展示していますので、皆さんご来場ください。

とき / 2月28日(火)までの平日、8時30分～17時15分

ところ / 市役所本庁舎1階ロビー

「ふゆみずたんぼ」に白鳥(ハクチョウ)が渡来



環境にやさしい農業の一環として取り組んでいる市内の「ふゆみずたんぼ」に、8羽のハクチョウが渡来しました。関係者によると、このハクチョウは「オオハクチョウ」と見られています。

埼玉県レッドデータブック2008動物編によるとオオハクチョウは、全県カテゴリー絶滅危惧ⅠA類(ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)に分類されています。県内に渡来するハクチョウのほとんどはコハクチョウであり、オオハクチョウはコハクチョウに混じるか単独で渡来する記録がある程度とのことです。

稲刈り後のたんぼに水を張った「ふゆみずたんぼ」

は、小さな生きものから大きな水鳥などで賑わう自然豊かなオアシスとなっています。渡来した8羽のハクチョウは、成鳥2羽、幼鳥6羽の親子と見られ、エサをついばんだり、大きく羽を広げたりしながら、本市で元気に冬を過ごしています。

ハクチョウたちが大きく成長し、たくさんの仲間を連れてまた本市に渡来してくれることを願って、豊かな環境の保全に努めるとともに、今後も環境にやさしい農業の普及・拡大を支援していきます。



「ふゆみずたんぼ」で羽を休めるハクチョウ

